

平成29年度 大腸がんに関する全国意識調査 集計結果報告・北海道

～ 大腸がん検診は便潜血検査であることを知っている女性は5割以上いるが、
「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた女性は26.7% ～

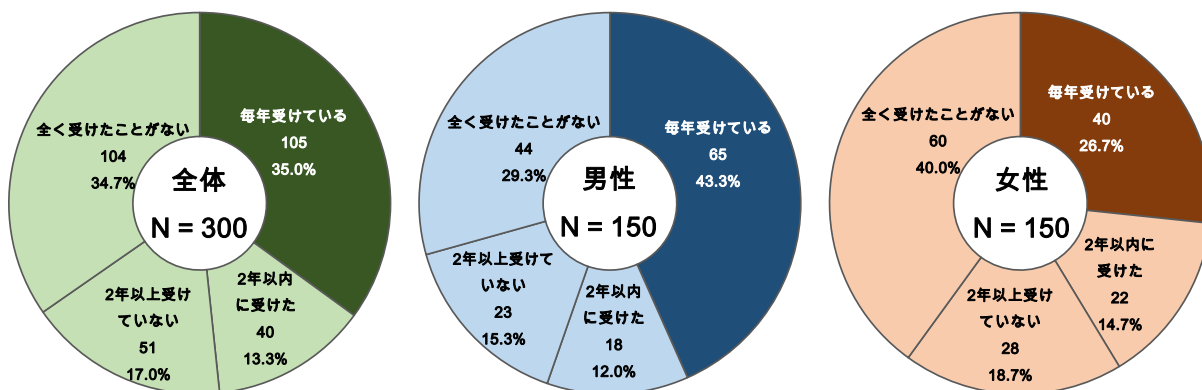
○ご注意：「全国」との比較を行っておりますので別添の「全国版」と見比べてご覧ください。

NPO法人ブレイブサークル運営委員会（所在地：東京）は、平成24年から5年間にわたり大腸がんに関する全国意識調査を行ってきました。本年は5月に大腸がん検診対象世代である40代～60代の全国の男女14,046名を対象に、大腸がん検診に関する全国意識調査（調査方法：インターネット意識調査）を実施しました。

都道府県別に集計を行なったところ、北海道は「大腸がん検診（便潜血検査）を毎年受けている」と答えた人の割合は全体が35.0%、男性が43.3%、女性が26.7%で全国より低く、男女差は全国より大きいです。また大腸がん検診は便潜血検査であることを知っている人の割合は男性の44.7%より女性は52.0%で高いですが、男女共に全国より低いです。

<大腸がん検診（便潜血検査）の受診有無>

設問：あなたは、大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？（単一回答）



さらに新しい試みとして健康保険の種類と「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の割合の関係も調べてみました。

北海道の一人でも多くの方が大腸がん検診を受診して、大腸がんの早期発見・早期治療につながるようお願い、調査報告をお送りいたします。お役立て頂ければ幸いです。

本リリースの掲載・取材に関するお問い合わせ先

NPO法人ブレイブサークル運営委員会／広報担当：柴田

E-mail: info@bravecircle.net TEL: 03-6908-9160 FAX: 03-6908-9150

※NPO法人ブレイブサークル運営委員会は官民連携により全国で大腸がん検診啓発活動を展開する団体です。

<http://bravecircle.net/>

過去の調査結果は当法人ウェブサイトでご覧いただけます。

【調査結果】 回答数：北海道内 300 名（男性 150名、女性 150名）

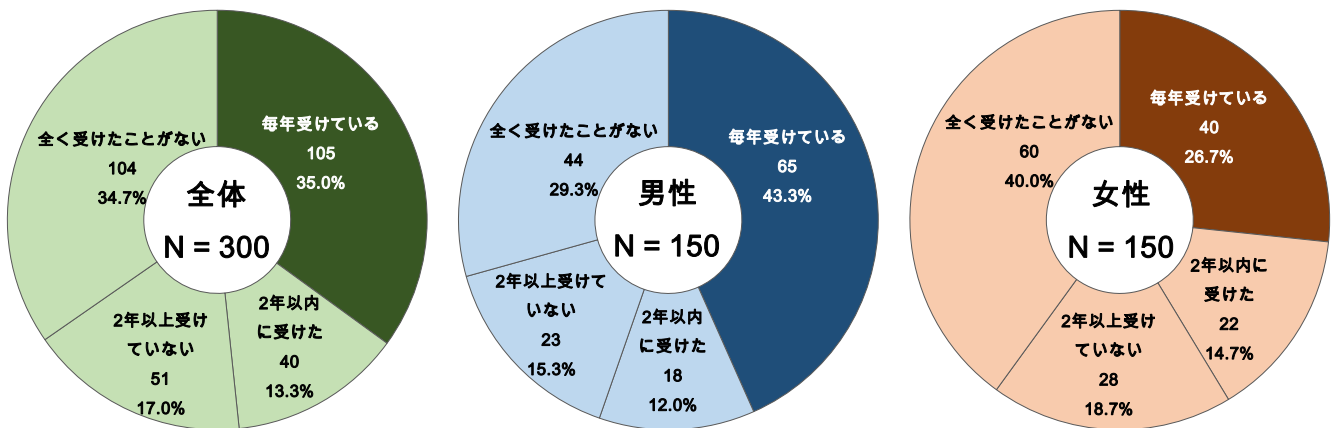
実施時期：平成29年5月 対象年齢：40代～60代 調査方法：インターネット意識調査

■「大腸がん検診（便潜血検査）を毎年受けている」と答えた人の割合

「大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？」という設問に関して、「毎年受けている」と答えた人は35.0%で、「全く受けたことがない」と答えた人は34.7%です。「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の割合の男女差が全国より大きく、特に女性は「毎年受けている」と答えた人が26.7%と全国より低く、「全く受けたことがない」と答えた人が40%と全国より高いです。

<大腸がん検診（便潜血検査）の受診有無>

設問：あなたは、大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？（単一回答）

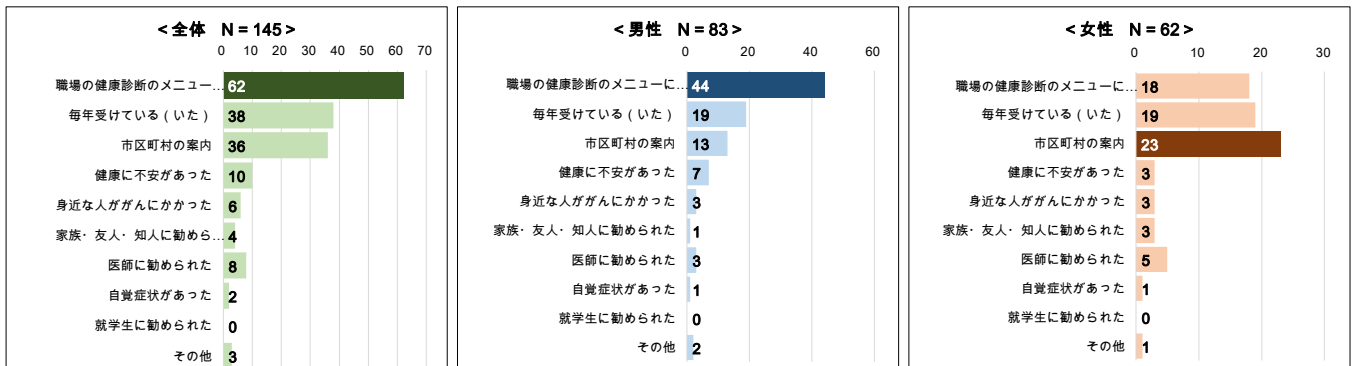


■大腸がん検診（便潜血検査）を受けるキッカケ

検診の受診理由は「職場の健康診断メニューにあった」が男性は1位（44名）ですが、女性は3位（18名）。女性の理由の1位は「市区町村からの案内（23名）」でした。男性の多くは職場の健康診断で大腸がん検診を定期的に行っているのですが、女性は市区町村からの何らかの案内に促されて受診しているケースが多いようです。これは全国と同じ傾向です。

<大腸がん検診（便潜血検査）の受診理由>

設問：どのようなキッカケで大腸がん検診（便潜血検査）を受けましたか？（複数回答可）
 （便潜血検査を「毎年受けている」「毎年受けていないが、ここ2年の間に受けた」と答えた人を対象）



※ 市区町村からの案内は

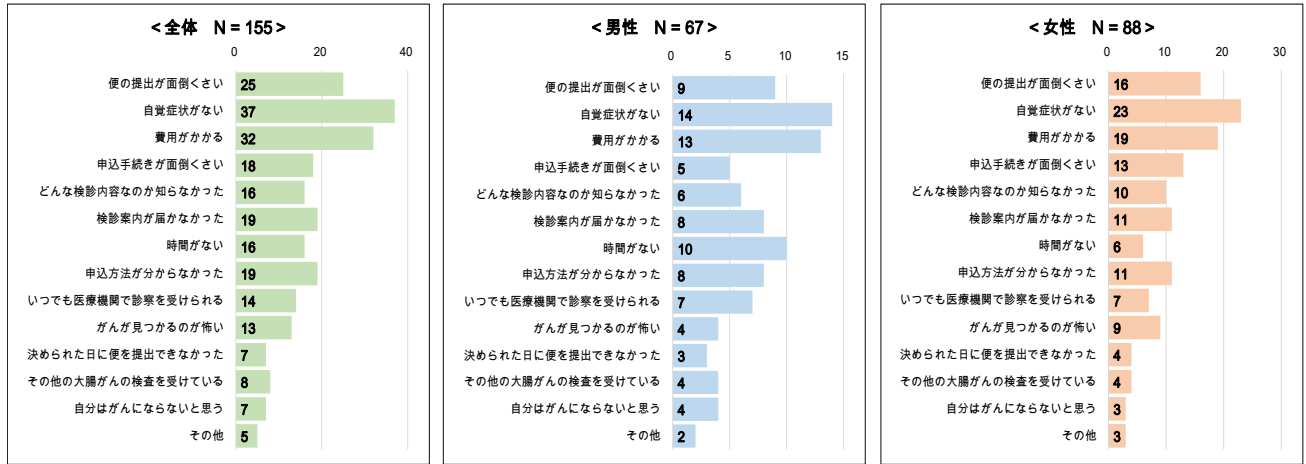
「健康（保健）推進員に勧められたから」、「市区町村の広報紙の検診案内を見たから」、「公共の場のポスターを見たから」、「市区町村からハガキや電話で案内があったから」、「個人宛に検診案内（個人負担あり）が届いたから」、「個人宛に検診無料クーポンが届いたから」の1つ以上を選択した回答。

■大腸がん検診（便潜血検査）を受けない理由

「大腸がん検診を全く受けていない」「2年以上受けていない」と答えた人に、受診しない理由を聞いてみました。全体の上位は「自覚症状がない」「費用がかかる」「便の提出が面倒」でした。大腸がん検診に限らず自治体のがん対策部署ではこういった阻害要因の解消に向けてずっと努力されていますが、いつまでも根深い問題です。

<大腸がん検診（便潜血検査）の未受診理由>

設問：大腸がん検診（便潜血検査）を全く受けていない、もしくはここ2年以上は受けていない理由を教えてください。（複数回答可）
 （便潜血検査を「全く受けたことがない」「受けたことはあるが、ここ2年以上は受けていない」と答えた人を対象）

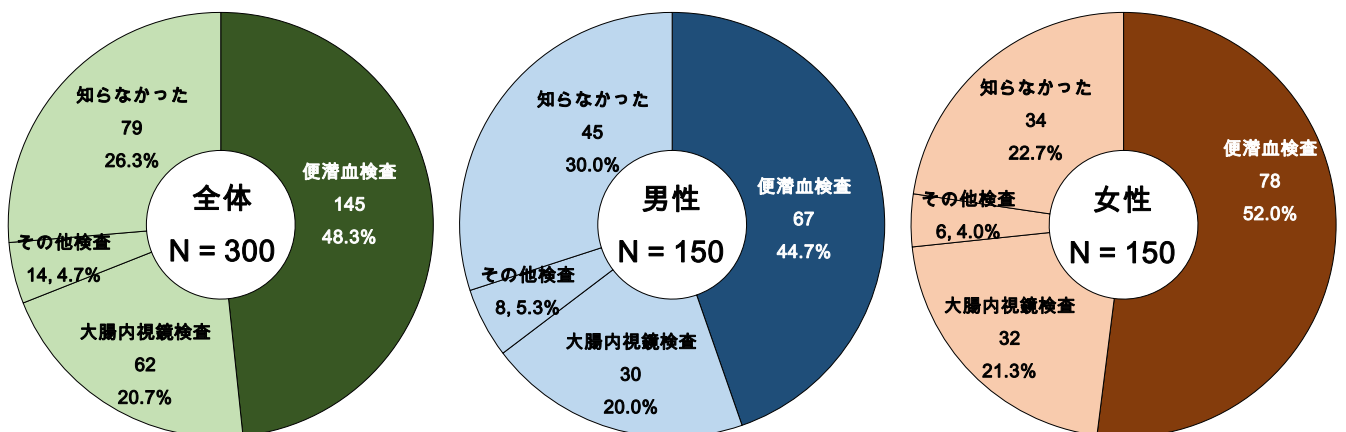


■大腸がん検診（便潜血検査）の認識

大腸がん検診は便潜血検査であることを知っている人の割合は男性が44.7%で全国とほぼ同じですが、女性は52.0%で全国より10.3ポイント低いです。

<大腸がん検診（便潜血検査）内容の認知>

設問：あなたは、早期発見の手段である大腸がん検診（一次検査）について知っていますか？以下より1つお選びください。（単一回答）



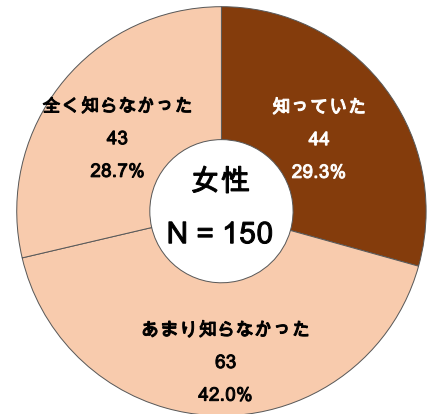
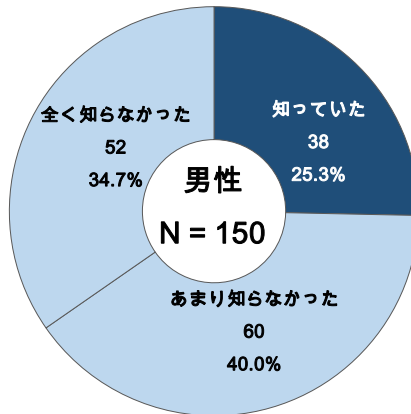
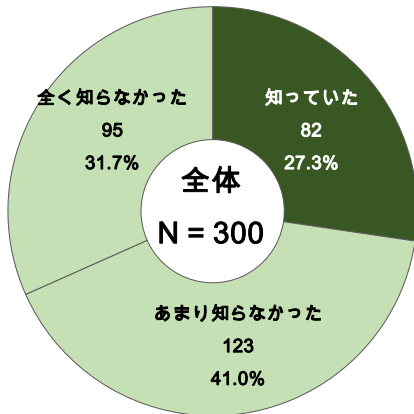
■大腸がんの危険性の認識

「大腸がんの死亡者数が胃がんを抜いて2位※になったこと」を知っていた男性が25.3%、女性は29.3%。さらに「大腸がんが女性の死亡原因の第1位※であること」を知っていた男性が18.0%、女性は30.0%でした。この2項目は男女共に全国より低いです。また「大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がないこと」を知っていた男性は42.7%と全国とほぼ同じで、女性は40.0%と全国より低いです。

※国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計（2014年の実績）』より

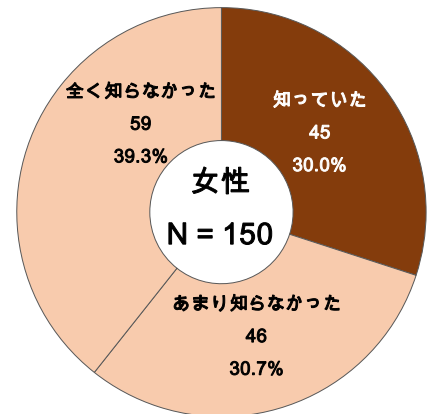
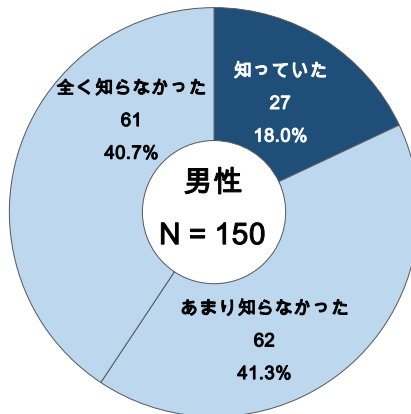
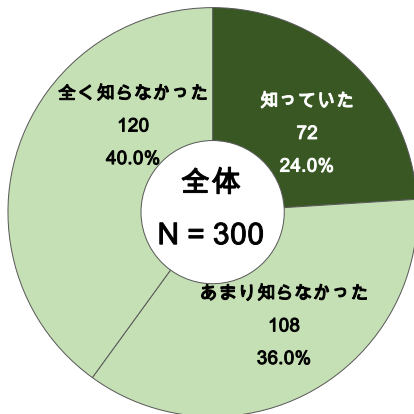
<大腸がん 死亡者数順位の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんが胃がんを抜いてがん死亡者数の2位になった。（単一回答）



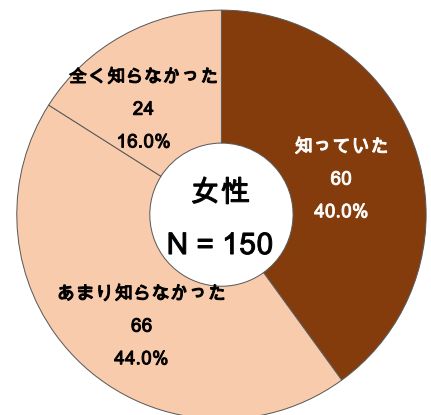
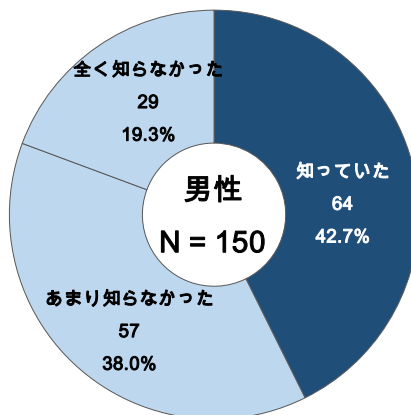
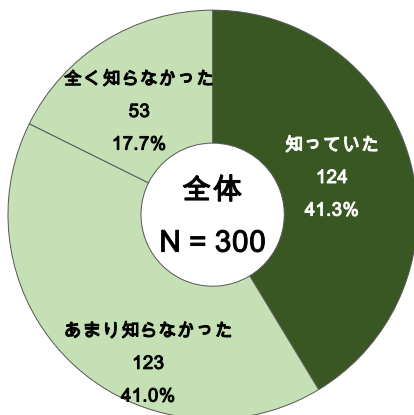
<大腸がん 女性の死亡原因が1位であることの認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 最近の女性のがん死亡原因の第1位が大腸がんである。（単一回答）



<大腸がん 自覚症状有無の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がない。（単一回答）

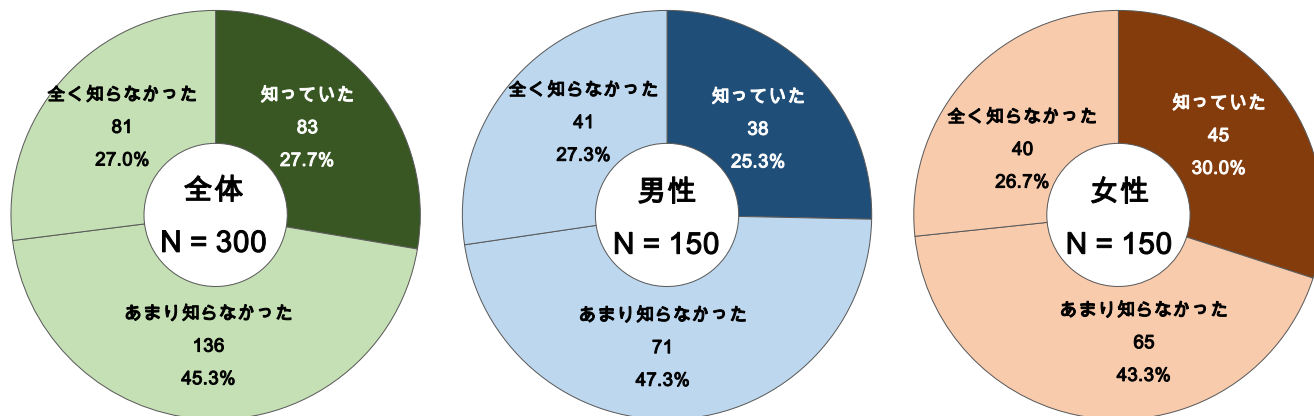


■大腸がんは早期発見・早期治療すれば治ることの認識

大腸がんは危険な病気ですが「早期発見・治療すれば9割以上が完治する」ことを知っていた男性が25.3%、女性は30.0%でした。これらの数値は男女共に全国より低いです。

<大腸がん 早期発見・治療による完治可能性の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんを早期発見・早期治療した場合、9割以上が完治する。(単一回答)



■大腸がんについての情報はどこから得ているか？

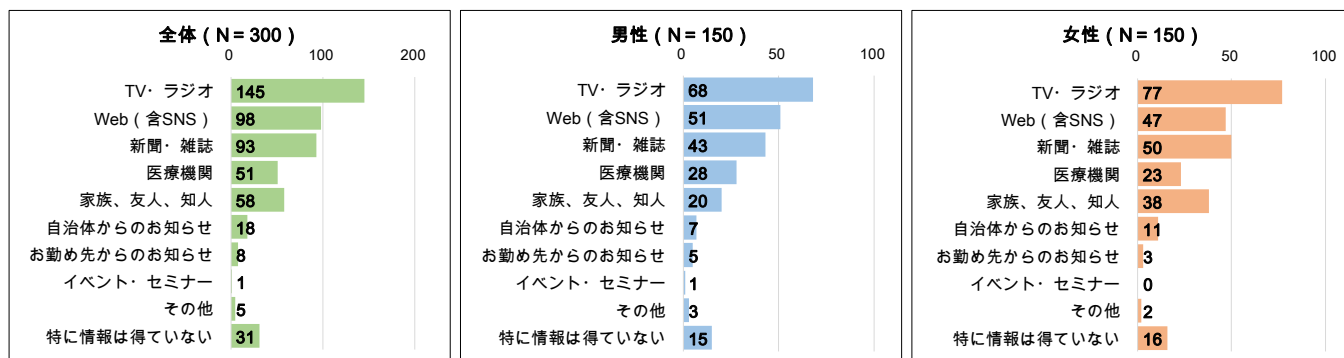
大腸がんの情報入手先の上位は「TV・ラジオ」「インターネット (SNS含む)」「新聞・雑誌」でした。

さらに「家族、友人、知人」「医療機関」をあげていました。女性は全国的に「家族、友人、知人」も多く、これらはどのように情報が交換されているのかなど、さらに調査が必要です。

今後、大腸がん検診のお知らせの方法として、自治体のWebサイトとともにSNSを活用することも検討の余地があると思われます。

<大腸がんに関する情報の入手先>

設問：あなたは、大腸がんについての情報をどこから得ていますか？ (複数回答可)



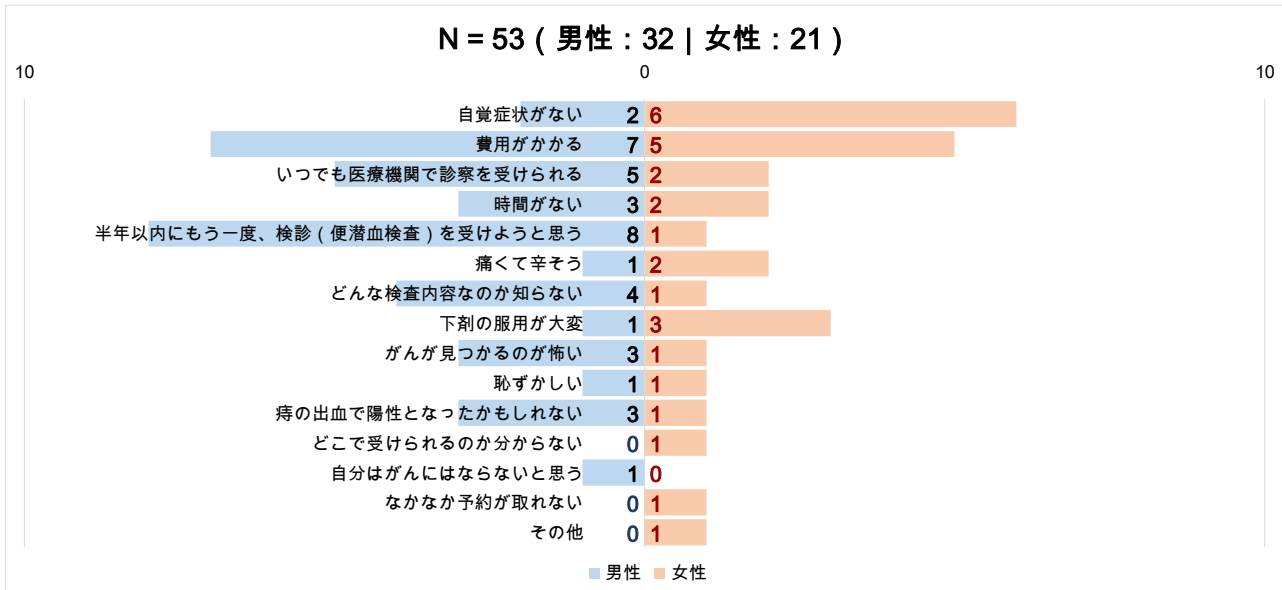
■大腸がん精密検査を受けない理由

大腸がん検診（便潜血検査）で陽性になった場合、「半年以内に大腸がん精密検査や医療機関での診察を受けない」と答えた人に理由を聞きました。男性の上位は「もう一度大腸がん検診（便潜血検査）を受ける」「費用がかかる」「いつでも医療機関で診察が受けられる」でした。女性の上位は「自覚症状がない」「費用がかかる」「下剤の服用が大変」でした。「費用がかかる」は男女共通ですが、男性と女性の精密検査を受けない理由が異なることが分かります。

<大腸がん精密検査（内視鏡検査等）の未受診理由>

設問：「大腸がん検診（便潜血検査）で陽性（要精密検査）となった場合はどのように対応しますか？」という質問で、

「半年以内に精密検査（大腸内視鏡検査等）を受ける」「半年以内に医療機関で診察を受ける」とお答えにならなかった理由を教えてください。（複数回答可）
 （もし陽性（要精密検査）になった場合、「『半年以内に精密検査（大腸内視鏡検査等）を受ける』『半年以内に医療機関で診察を受ける』と答えなかった方」を対象）



大腸がんに関する全国意識調査の新しい試み

■健康保険の種類と「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の関係について

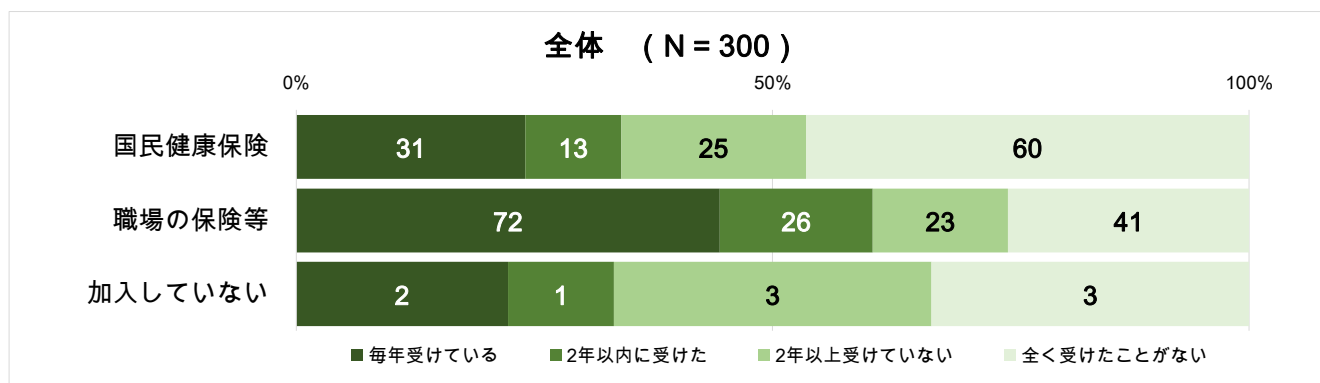
今回新しい試みとして、健康保険の種類と「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の関係があるか調べてみました。その結果、国民健康保険の加入者は129名、職場の保険等の加入者は162名、未加入者は9名でした。「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人は、国民健康保険の加入者が24.0%（31名）、職場の保険等の加入者が44.4%（72名）でした。

<健康保険の種類と大腸がん検診（便潜血検査）受診の関係>

設問：あなたは、大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？（単一回答）

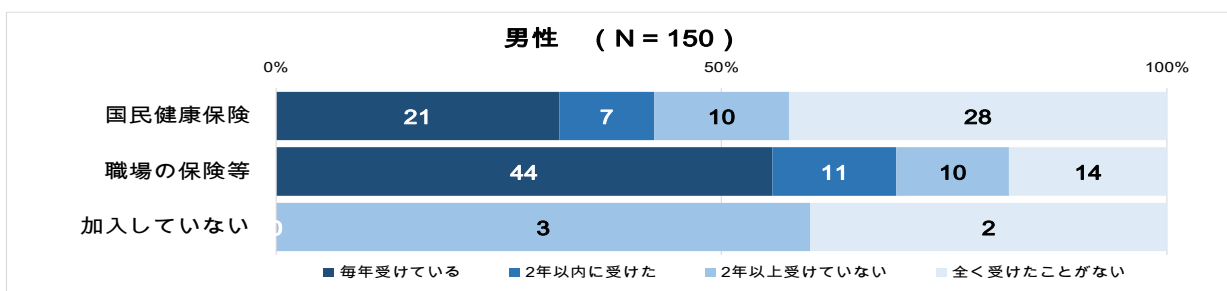
設問：あなたが現在加入している健康保険の種類は次のうちどれですか？（単一回答）

	毎年受けている	2年以内に受けた	2年以上受けていない	全く受けたことがない	全体
国民健康保険	31 24.0%	13 10.1%	25 19.4%	60 46.5%	129 100.0%
職場の保険等	72 44.4%	26 16.0%	23 14.2%	41 25.3%	162 100.0%
加入していない	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	3 33.3%	9 100.0%
総計	105 35.0%	40 13.3%	51 17.0%	104 34.7%	300 100.0%



男女別に見ると、国民健康保険の加入者で、「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた男性は31.8%（21名）、女性は15.9%（10名）です。また、職場の保険等の加入者で、「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた男性は55.7%（44名）、女性は33.7%（28名）で、どちらの保険も女性は男性より低いと言えます。

	毎年受けている	2年以内に受けた	2年以上受けていない	全く受けたことがない	男性
国民健康保険	21 31.8%	7 10.6%	10 15.2%	28 42.4%	66 100.0%
職場の保険等	44 55.7%	11 13.9%	10 12.7%	14 17.7%	79 100.0%
加入していない	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	5 100.0%
総計	65 43.3%	18 12.0%	23 15.3%	44 29.3%	150 100.0%



	毎年受けている	2年以内に受けた	2年以上受けていない	全く受けたことがない	女性
国民健康保険	10 15.9%	6 9.5%	15 23.8%	32 50.8%	63 100.0%
職場の保険等	28 33.7%	15 18.1%	13 15.7%	27 32.5%	83 100.0%
加入していない	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	4 100.0%
総計	40 26.7%	22 14.7%	28 18.7%	60 40.0%	150 100.0%

